

第28回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 平成29年3月17日（金）
テーマ 里親・里子支援サークルの活動を知ってほしい
参加者 美作大学
藤永明里沙さん、
伊藤麻子さん、野木寛明さん
前田梨奈さん、秦愛実さん

市長が美作大学里親・里子支援サークルの皆さんから、活動についてお話を伺いました。

参加者 わたしたちの先輩が、里親に興味を持ち、美作大学の授業で里親会と関わったことがきっかけで、里親・里子支援サークルを立ち上げました。現在は20人ほどで活動しています。



サークルで企画したキャンプなどに、里親・里子の皆さんが参加します。また、里子の宿題を見てあげたり、里親の皆さんの会合の際に、里子の託児をしたりしています。里親の皆さんは優しく、里子のみんなは元気で明るいです。

発達障害を持つ子どもが危ない行動をした時などは、対応が難しく勉強が必要だと感じています。

学生のサークルが里親支援に主体的に関わっていることは、日本で初めてではないかといわれています。里親の皆さんが、わたしたちの活動を受け入れてくださっていることに感謝しています。

市長 里親制度を理解して、少しでもお手伝いしたいと思ったのですね。素晴らしい取り組みです。

参加者 わたしたちの活動資金は、インターネットを通じて寄付を募って集めています。そこで、里親の研修会などの案内チラシにもサークルの活動を紹介していこうと思っています。市でも、活動の周知に協力していただけませんか。

市長 支援する人、される人、皆さんが喜びを感じられる活動は珍しいと思います。多くの人に寄付へ賛同していただくと、それがまた大きな支援活動につながりますね。そのためには、活動そのものが市民に理解されるよう、大学などで講演会を開催するなど、活動を広めることが必要ということですね。

市でも広報紙に掲載するなど、さまざまな情報手段を使って支援したいと思います。学内の皆さんに知っていただくことも大切ですね。